障サ協
広報紙

山口県障害福祉サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会　広報委員会　〒753-0072　山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799　FAX：083-924-2798　メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

【活動目標】支援現場での三障害一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取組みます

会員事業所紹介（第24回）
意味を意識した適切な支援を大切に
児童デイサービス つぐみ右田（みぎた）

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする、会員事業所紹介です。

今回は、防府市の児童デイサービスつぐみ右田をご紹介します。お話を伺ったのは、管理者の家永俊樹さんです。

1．開所の経緯をお聞かせください。

家永：平成21年に「合同会社つぐみ」を設立しました。その後、山口市に児童デイサービス事業所を開所した後、平成24年に防府市に「児童デイサービスつぐみ」を、令和2年に、学習の習慣をつけていただくための学習に特化した「学習サポートフラップ」を開設しました。

「つぐみ右田」が開所した当時は、防府市内に放課後等デイサービス事業所が少なく、「つぐみ防府」だけではニーズに応えきれない状況で、市内2事業所目となる「児童デイサービスつぐみ右田」を開設しました。

その後も、学習支援と自立支援の小グループに分けて療育を行う「児童デイサービス　アンジュ」の開設や、コロナ禍で学習習慣が身に付きにくいお子様を対象に、「つぐみ防府」に学習サポートを付随したサービスを提供する等、その時々の地域のニーズに合わせて事業を展開しています。

2．現在の利用状況（人数・特性）を教えて下さい。また、利用者の特性に応じた対応の配慮や工夫があれば教えて下さい。

家永：人数は全体で33人です。障害特性は、主にADHD（注意欠如・多動性障害）や軽度～中度の知的障害のお子さんが多いです。配慮や工夫としては、年齢や障害特性、生活環境などを把握しながら、子どもに合わせた視覚支援を中心とした支援を行っています。学校で頑張りすぎてしまう子や家庭では学習が上手くいかない子などいるので、その子に合った支援の提供を心掛けています。

3．支援で大切にしていることはありますか。

家永：私が支援で大切にしている事が2つあり、1つが、子どもの心の状態に合わせた支援やコミュニケーションをとっていくこと。2つ目は、子どもの意思表出をその子らしく他者へ伝えられるようにサポートすることです。私はどちらかというと論理的より感覚的に関わっている所があると思いますが、過去に自分の仕事は何かを考える機会があり、その時にこの2つの答えにたどり着きました。

特に大事にしていることは、「この支援にはこういう意味がある」と、言語化して説明が出来る

児童デイサービスつぐみ右田
設置法人：株式会社つぐみ
実施事業：放課後等デイサービス
管理者：家永俊樹
〒747-0064　防府市高井647-2
TEL. 0835-28-7540
FAX. 0835-28-7540